# コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について

### 1 基本的な考え



現在、幼児児童生徒を取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・困難化しており、教育改革、地方創生等の動向からも、学校と地域の連携・協働の重要性が指摘されています。

そして、新学習指導要領の前文では「これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。」と述べられております。

これらのことを踏まえ、学校の抱える諸問題の解決や生徒等の望ましい成長をより一層支援するためには、学校と地域が学校運営の目標・ビジョンを共有し、共に力を合わせて学校運営に取り組む必要があるため、阿見町では令和3年度からコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を導入いたしました。

### 2 コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置した学校のことです。学校運営協議会制度の導入によって、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体になって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

#### ○学校運営に地域が参画

保護者や地域の代表が委員となり、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動について 意見を述べたりすることを通して、一定の権限と責任をもって学校運営に参画します。

#### ○学校の課題を地域とともに解決

学校の課題を保護者や地域の皆さんと力を合わせ、知恵を出し合いながら地域とともに 解決していきます。

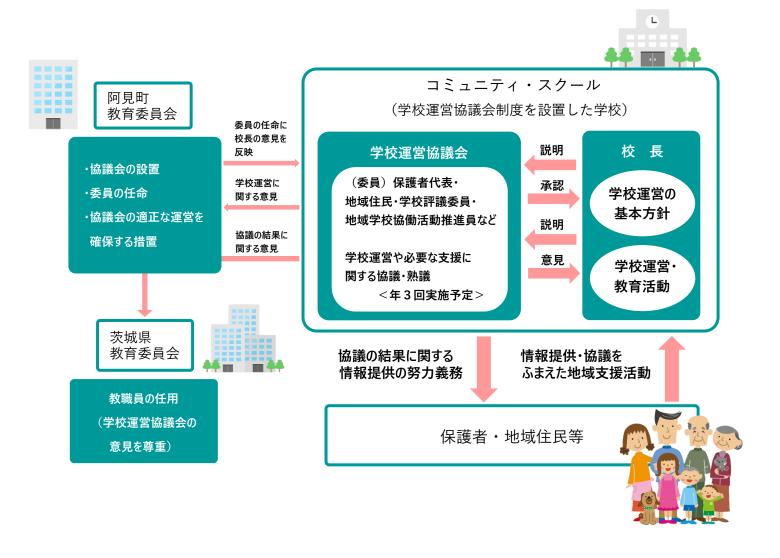
# 

#### ○学校づくりが地域づくりへとつながる

地域と連携した学校運営に積極的に取り組むことで、開かれた学校づくりが展開されると ともに、地域との連携がさらに強まり、それが地域づくりへとつながっていきます。

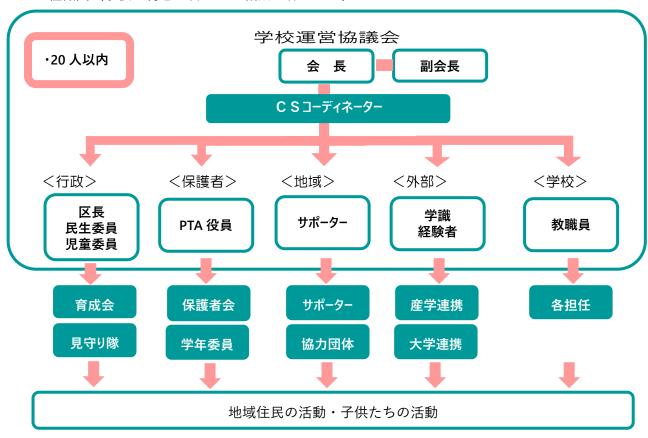
### 3 コミュニティ・スクールの仕組

# ~コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度) の仕組~



# 4 学校運営協議会の構成について

○組織図(学校の特色に合わせた編成を行います)



# 5 阿見町としてのかかわり

# ★学校運営協議会の設置

☆学校運営協議会の立ち上げのための相談・準備

☆学校運営協議会委員の任命

☆学校運営に関する意見を伺い、町として反映

☆学校運営協議会の開催費用等の負担

☆関係機関・団体等の連携・協働の促進

# 6 阿見町としての基本理念





#### 阿見町の基本理念

# 「みんなが主役のまちづくり」



\*

コミュニティ・スクールのめざす姿

「子供・地域・学校が輝く居場所づくり」



#### 地域の実態

- ○知識・経験が豊富で、子供たちに指導できる技能を持っている人が多い。
- ○元気な高齢者が多く、活躍する場を渇望している。
- ●地域における地縁的なつながりが希薄になっている。
- ●地域コミュニティの機会が少なくなってきている。

阿見町では、コミュニティ・スクールを通して、阿見町の基本理念である「みんなが主役のまちづくり」を目指して取組を進めてまいります。

### 7 コミュニティ・スクールにより期待される効果

### < 子供たち >

- ・学びや体験活動の充実
- ・安心安全な活動
- ・地域の担い手としての自覚が高まる
- ・触れ合いを通してコミュニケーション能力の向上



## < 学 校 >

- ・地域の理解と協力を得た学校運営
- ・地域の支援による充実した学校運営
- ・地域の協力により子供と向き合う時間の確保

### < 保護者 >

- ・学校や地域に対する理解の深まり
- ・保護者同士や地域の人との人間関係の構築
- ・地域の中で子供たちが育てられている安心感



### 地域の人々 >

- ・生きがいや自己有用感の高揚
- ・学校が社会的つながり、地域のよりどころになる
- ・学校を中心とした地域ネットワークの形成
- ・地域の防犯・防災体制等が構築

### 8 コミュニティ・スクールの展開

- R3年 阿見第二小学校 コミュニティ・スクール導入
- R5年 君原小学校 コミュニティ・スクール導入
- R6年 舟島小学校、阿見第一小学校 コミュニティ・スクール導入
- R7年~ 町内小中学校 コミュニティ・スクールを順次スタート
- R10年 町内全小中学校 コミュニティ・スクール導入(予定)